

日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)とは

これまでの日本の道路は、単にモノ・人を運ぶ機能を有する“道具”としての整備が進められ、美しさ・景観・味わい等のニーズは優先されてきませんでした。その一方で、近年、景観向上や地域主体の道空間づくりを支えるための法制度の整備や社会貢献に対する意識の高まりから、住民の積極的参加のもと、道路に対する多様なニーズに対応するための様々な取組が進められています。このような、地域が主体となった動きを一層進めるために、国土交通省では、自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した日本風景街道(シーニック・ウェイ・ジャパン)の検討を行っています。

日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)がもたらす効果

迎える

- 地域(地域住民、地元企業、地元事業者、自治体等)
- ◆地域のストーリーを持ち、広く発信できる
 - ◆地域を再生できる
 - ◆地域を活性化できる
 - ◆地域の誇りを育てる ◆地域をブランド化できる
 - ◆企業活動を展開する場が生まれる
 - ◆もてなす気持ちと喜びが生まれる
 - ◆社会貢献の場が広がる

人の交流を支えるみちへ
地域と呼吸しあうみちへ

訪れる

- 道路利用者(来訪者、通過者等)
- ◆新しい発見、感動の喜びを味わえる
 - ◆地域に活気をもたらす
 - ◆感動を伝え、広げる人になる

- 道路管理者(国、自治体等)
- ◆地域と道が一体となった舞台づくり
 - ◆道路の使われ方の負の遺産の清算
 - ◆効率的な道路管理 等

宮崎県内の2ルート

南国情緒と地域資源活かし、ブランド化めざす

日南海岸きらめきライン



宮崎市・日南市・串間市・北郷町・南郷町
地域の人々の連携協力により、南国ムード溢れる景観、豊かな自然、歴史・文化資源や暮らしなどの地域の魅力を体験するプロジェクトや各種イベントや情報発信を「おもてなし」の心で取り組み、日南海岸地域の本物の魅力を引き出していきます。

スロードライブを演出するリアス式海岸と多島の美

蒲江・北浦大漁海道



佐伯市・延岡市
“海道”は、国道388号を中心とした大分県と宮崎県にまたがる日豊海岸沿い。特徴であるリアス式海岸と多島の美しい眺めを楽しんでもらえるよう、標識や駐車場の整備、ガードレールのリメイクを進めています。

シンポジウム/道守みやざき会議に関するご意見・お問い合わせ

道守みやざき会議事務局 | 国土交通省 延岡河川国道事務所 調査第二課
TEL0985-60-3911 | 〒882-0803 延岡市大貫町1丁目2889 TEL0982-31-1263

主催：道守みやざき会議 共催：国土交通省宮崎河川国道事務所・延岡河川国道事務所

道の日



道守シンポジウム
in のべおか



道守みやざき会議
代表世話人
ひだか あきら
日高 晃

挨拶

本日は、県北みちもりの発足と同時に県北のべおかでシンポジウムを開催できましたことを大変うれしく思います。「道守」とは、「道」を舞台に、あるいはテーマに活動する人々のことをいい、その方々の活動を「道守活動」と呼んでいます。これからは住民と行政の「協働」により、自分たちの道は自分たちで守るという新しい時代を迎えていきます。「人と道との新しい緑」を紡ぐ道守。本日のシンポジウムでみなさんと一体となった意見交換をすることで、少しでも道守について知っていただき、さらなる活動の輪が広がる機会となればと思っています。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。



県北みちもり代表
やの はつみ
矢野 初美

挨拶

本日、「道守みやざき会議・北部ブロック(通称:県北みちもり)」の発足会が行われ中央ブロック、南部ブロックにつづき、「県北みちもり」を発足することができました。「道守みやざき会議」の活動は、日高代表のもと着々と輪を広げています。道には大きい道から小さい道まで、どれ一つとっても、日々の暮らしにはかかせないものです。その「道」を活用して、県内におけるさまざまな道守の方々が、私たちの郷土「みやざき」を愛し、慈しみ、少しでも地域が良くなればという想いから日々汗をかき頑張っておられます。県北みちもりの代表としてこれからもたくさんの道守さんたちと活動の喜びを分かちあい、輪を広げていきたいと思います。

主催：道守みやざき会議 共催：国土交通省宮崎河川国道事務所・延岡河川国道事務所

プログラムの案内

日時：平成19年8月10日(金) ※午後1時開始(東北みちもり発定会) 午後2時～4時30分
会場：カルチャープラザのべおか1F(多目的ホール)

14:00	オープニング 道守体験発表 延岡市立下赤小学校6年生 廣瀬 浩吉さん 【ひかり児童クラブ】 延岡市立三川内小学校6年生 松尾 優佳さん 延岡市立三川内小学校6年生 佐伯 茜さん 延岡市立北浦小学校5年生 柴 彩女さん
14:20	あいさつ 道守みやざき会議代表世話人 日高 晃氏
14:30	基調講演 演題：「九州の道づくりと道守」 道守九州会議 副代表世話人 森 将彦氏
休 息	
15:20	パネルディスカッション テーマ「道守が育てるこころ豊かな地域づくり」 【コーディネーター】 宮崎大学教育文化学部准教授 根岸 裕孝氏
16:10	道守拡大宣言 東北みちもり代表 矢野 初美氏 東国原宮崎県知事ビデオレター
16:30	終了

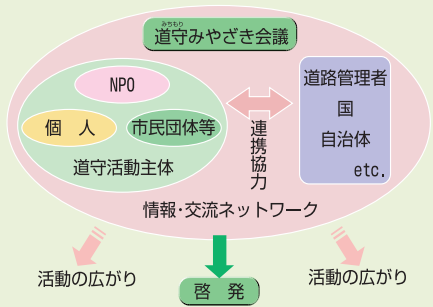
道守みやざき会議とは

宮崎地域の道守活動に携わる個人、市民団体、NPO、企業等が相互に連携・交流を図るため、情報発信、情報交流を行うことを目的に、宮崎地域世話人の長友睦郎氏(宮交ボランティア)、日高晃氏(橘通りフラワーロード推進協議会)、矢野初美氏(東北みちもり代表)の3名が中心となり、宮崎県内で活動されるボランティア団体代表者等に呼びかけを行い、平成16年6月28日に設立されました。

会の名称である「道守(みちもり)」とは、道路の番人という意味で、住民と行政がそれぞれの役割を果たしながら、協力して道路を守り育て、21世紀の道守として、道と人の新しい縁(えにし)を作り出すべく活動を展開しています。



道守みやざき会議のイメージ



基調講演者の紹介

演題「九州の道づくりと道守」



道守九州会議 副代表世話人 森 将彦氏

【プロフィール】

1945年生まれ(徳島県出身)、徳島大学工業短期大学部土木科卒業、建設省四国地方建設局に入省、佐賀・鹿児島・福岡国道工事事務局長、九州地方整備局道路部長など経て、現在、社団法人九州建設技術管理協会理事長。道守九州会議副代表世話人、九州風景街道推進会議委員なども務める。

コーディネータープロフィール



根岸 裕孝氏 (宮崎大学教育文化学部 准教授)

1966年生まれ(栃木県出身)九州大学大学院経済学研究科修士課程を終了後、(財)日本立地センター入所、調査部研究員、立地総合研究所研究員を経て、2001年4月宮崎大学教育文化学部講師、2004年2月同学部助教授に就任し現在に至る。

司会者紹介



石田 達也氏 (道守みやざき会議事務局)

パネリストの紹介



東北みちもり代表 道守みやざき会議副代表世話人 矢野 初美氏

●道行く人に笑顔と感動を

我が家に花壇を作り、庭木の手入れをするように道路も庭の一部として大切に守っていききたいものです。

生活道路や国道が手入れされず雑草や空き缶できたなく汚れている様は切なく目を覆いたくなります。豊かな生活を営む上で、とても必要な道路です。

雑草が、いつしかきれいな花で彩られ、道行く人々に笑顔と感動を与え豊かで安心安全な町づくりへと発展していくことを期待します。生活に密着した道路に愛情の花を咲かせましょう。



みちづくりを考える延岡女性の会副会長 道守みやざき会議北部ブロック世話人 村田 宮子氏

●小さなうねりが大きなうねりへ

一つの小さなうねりが大きなうねりへ…一人ですっと続けてきた缶拾い・植栽。国道388号線のごみ拾いをする子供達…

地域の皆様に知っていただき、この行動を地域住民の皆様に協力していただければ、いつか、この北浦町に住む人々は全て道守となるはず!

それを目標に小さな活動を連綿と続けていきたいと思っております。みなさん(とくに北浦町)一緒に頑張りましょう!!



道守みやざき会議南部ブロック 谷越 衣久子氏

●ふるさとの記憶は道の風景とともに

久しぶりにふるさとに帰ると、記憶の中の道よりかなり狭いのにいつも驚く。多分、ふるさとの道は子どもの頃の思い出と共にあるからだろう。

道の風景と共に様々な思い出がよみがえる。道の風景はふるさとの記憶と共に次の世代へと受け継がれていくのだろう。

宮崎で育った息子は、大人になって宮崎に戻ったとき、道の風景に何を思うのだろう。道守はその風景づくりを担っているのだと思う。



ローカルエリア・ネットワーク 「時の旅」情報誌「みちくさ」主宰 福永 栄子氏

●もっと「みちくさ」して、旅を楽しく!

月刊誌「みちくさ」を通して、人と人、人と自然、人と文化を、むすんでゆきたい…「道」のように。地域に育まれた風土・歴史、さらには今を生きる人々の夢や取組みを発信することで、地域の魅力を伝えてゆきたい。テーマは「偉大なる田舎文化」「時を旅する」そして「みちくさ」。

早く・便利の代名詞「カーナビ」が発達した現代、目的地に即行してしまうことを憂う。農道や林道、旅の道を織り込んだ地図を掲載し、出会いの旅にいざなう…手にしたときから、旅が始まる。